

千歯会便り

167号

2015.1.20 発行



新たな年明けから幾日か過ぎ、平穏な日々をお過ごしのことかと存じ上げます。本年にご多幸がありますよう、千歯会一同お祈りいたしております。

「ライフサイクルを考慮した歯科治療」

第二回

おゆみ野総合歯科クリニック
岩手医科大学臨床教授

伊藤 創造

今回の話は、虫歯、歯周病にならないようにする方法に関しての有益な情報です。

Axelssonらが書いた予防歯科に関する有名な論文がありますが、この論文の中で、「25名に対して30年間のプロフェッショナルケア*により、虫歯、歯周病を確実に減らすことができ、さらに抜かなくてはいけない歯が30年間で1人平均0.4〜1.8本であった。」という報告をしています。

抜歯になった173本の歯の中で、虫歯で抜いたのが12本、歯周病で抜いたのがたったの9本であったという報告です。現状の日本では考えられないほど少ない数字です。さらに抜歯にいたる主たる原因は歯根の破折であったとも報告されています。すなわち、虫歯、歯周病は減らすことができ、本来まれな病気になる可能性をもっているのです。

虫歯も歯周病もその原因の主たる

ものは細菌がもたらす感染です。医科の治療で感染源をそのままにしての感染症に対する治療は考えられません。しかし、私を含めて我々多くの歯科医師は過去長年に渡って、歯や歯肉の痛み、虫歯や歯周病により咬めないという機能低下とだけ戦ってきました。したがって本来歯科においてこの感染源である口腔内細菌に対する根本的な対策をあまりして来なかったのです。だから前述の論文のように虫歯や歯周病を減らすことができるにもかかわらず、多くの歯を失うことにつながってしまったのです。

なぜ、そうなってしまったかは日本が予防歯科に対する関心が低く、予防のために定期的に歯科医院を受診する習慣がなかったこと、口腔内細菌を減少させる方法を各歯科医院が理解していなかったことなどが考えられます。しかし、現在日本ではこの感染源に目を向けて口腔内細菌

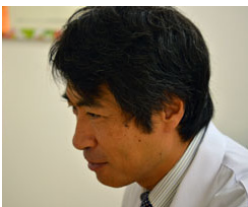
に対する対策をとり、虫歯や歯周病にならないように努力をしている多くの歯科医師、歯科医院が現れました。歯科医師の目が予防に向いたのです。これは非常に良い傾向で、ライフサイクルの中で長期的な展望に立って患者さんのお口の中を考えると、良いきっかけになったのです。

良いきっかけになったのです。

*プロフェッショナルケアとは、歯科医師・歯科衛生士による専用機器を使用して行う歯のクリーニングプログラムの中で、歯に付着したバイオフィルムという口腔内細菌の塊を除去することができます。

プロフィール

伊藤 創造
いとう そうぞう



1984年
岩手医科大学 歯学部 歯学科 卒業
博士(歯学)の学位を取得(岩手医科大学)
1990年～
岩手医科大学歯学部 第二補綴科医局長、外来医長、非常勤講師
2014年
岩手医科大学歯学部 臨床教授
2014年6月4日
おゆみ野インプラントセンター開設 所長就任

新年 になりましては寒さが続いております。風邪・ノロウイルス感染を予防しましょう！ 風邪は感染している人の鼻水や唾液などが自分の鼻や粘膜に触れることで感染しますので、うがい手洗いが有効です。目に見えない飛沫がつり革や手すり、自販機などのボタンやドアの取っ手に付着している可能性がありますので、帰宅時には石けんを使って丁寧に洗いましょう。

また、ノロウイルス予防には貝類の十分な加熱（85度以上）、生鮮食品の洗浄も効果的です。

**片貝
デンタル
クリニック**



山武郡九十九里町片貝
2380
TEL 0475-70-7171
FAX 0475-76-4888

訪問診療部
TEL 0475-76-8201
FAX 0475-71-3472

総勢 25名のスタッフで
2015年も頑張ります！

当院歯科医師のプロフィール紹介をリニューアルいたします。医院の待合室や診療室のパソコンに掲載する予定です。

ご来院の際はぜひ、ご覧下さい。先生の今迄とは違った一面がわかるかも？

※写真はプロフィール・イメージ画像です。



プロフィール
名前 福士 蒼汰
誕生日 6月30日
血液型 O型
身長 178cm
特技・趣味
多岐にわたるスポーツ
旅行は大好き
好きな食べ物は
何でもおいしい
他
英語が得意

**大網
歯科医院
院内**



大網歯科医院

大網白里市みやこ野
2-2-1

TEL 0475-72-6480
FAX 0475-72-8059

千歯会 事業所便り

免疫力 が低下している高齢者にとって冬場のインフルエンザ感染は特に注意が必要です。インフルエンザ予防に口腔ケアは有効な手段のひとつです。口腔ケアによって口腔内が清潔に保たれていれば、唾液に含まれる抗菌物質がインフルエンザの侵入を防いでくれます。また、お口の健康が保たれていれば体力や免疫力の低下を防ぐことができます。インフルエンザ予防には手洗い、うがいに加えて『口腔ケア』と覚えてください。

**千歯会
訪問部**

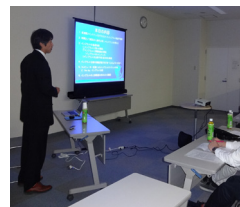


**大網歯科医院
訪問診療部**

TEL 0475-73-6480
FAX 0475-53-6982

先日 スタッフ一同で当院の伊藤創造先生が開かれたインプラントセミナーに行ってきました。インプラントのメンテナンスを中心に、わかりやすく楽しいセミナーでした。よりいっそうの治療クオリティアップに繋がるよう、今後も勉強会を続けていきます。

**おゆみ野
総合歯科
クリニック**



**おゆみ野
総合歯科クリニック**

緑区おゆみ野 4-3-9

TEL 043-300-3939
FAX 043-300-3940

〈千歯会カルチャー〉

摂食嚥下リハビリテーション

内宮洋二郎 歯科医師

今回は当千歯会にて訪問歯科治療
を行っている内宮洋一郎歯科医師に
よる「摂食嚥下リハビリテーション」
についての記事を掲載いたします。

歯科医院では歯の治療に留まらず
口腔全域のケアを行います。食べる、
飲み込むといった、人間が生きるた
めの重要な行為について寄稿頂きま
した。

摂食嚥下リハビリテーション — 食べることへの支援の必要性について

まず、「食べること」とは、摂食嚥下
(せつしょくえんげ)機能と呼ばれます。
私は訪問歯科診療を行う訪問歯科医師
です。高齢者の自宅や施設などを訪問し
ますが、そこでは、ムセたり、食べこぼ
したりする方によく遭遇します。さらに
食事に時間がかかるといった場面もよく
みられます。これらは、「食べること」
の障害、つまり摂食嚥下障害といい、そ
の一症状です。
では、なぜこのようなことが起こるの
でしょうか？ 大きく分けて二つの原因
があげられます。

①加齢によるもの

加齢とともに、食べる機能は徐々に低
下するからです。例えば、唾液がとても
重要なことは前回の号で述べられていま

すが、もちろん高齢者にとっても重要で
す。特に高齢者は安静時の唾液分泌量が
少なく、口腔乾燥をきたしやすという
特徴があります。また多病であるため、
複数の服薬があることもその原因とされ
ています。これでは口腔内の自浄作用が
低下し不潔になるということだけでな
く、誤嚥性肺炎(唾液や食べ物などが気
管に入ること起こる)や口臭の原因と
なったり、食べ物を飲み込みやすいよう
な塊にすることができない原因にもなり
えます。こういうお口が渴きやすい方は
特に口腔ケアが必要になります。

さらに高齢者では舌の筋力が低下した
り、喉仏(のどぼとけ)の位置が下にさ
がります。この舌の機能低下や喉頭下垂
等に起因する摂食嚥下障害については、
高齢者では舌の筋力の低下が食べ物の塊

を口腔から咽頭(のど)へ送り込むのに
支障をきたし、また咽頭収縮力の低下
(飲み込む力の低下)をきたし、摂食嚥
下障害の一因となることが知られていま
す。

年末年始には、高齢者は餅を喉につま
らせて窒息する事故が頻発しています。
そして、窒息事故者の年齢階級は、飲み
込む力が衰えている高齢者が大半を占め
ています。

②疾病の合併症として起こるもの

高齢者が多く罹患する脳血管障害(脳
卒中)やパーキンソン病、認知症などは、
その合併症としてこれら食べる機能(摂
食嚥下)を障害します。多くの高齢者は
程度の差はあれ食べる機能に問題を抱え
ているといえます。病院・施設に入院・
入所中で、平素は食事に関して訴えのな
い高齢者を調査した結果、平均して約
15%の人に食べる機能の障害があったと
いいます(Yamawaki,2007)

今までの多くの高齢者はこれをやむを
得ないこととして受け止め、自分からそ
れを訴えること(主訴)として歯科を受
診することはありませんでした。

・摂食嚥下障害に対するリハビリテー
ションの必要性

摂食嚥下障害は、従来の歯科医療の範
疇になかったものです。摂食嚥下障害と
いう症状自体は以前からありましたが、
これまで医科を含めて積極的な医療の対
象となっていないませんでした。

医療は疾病の治療を目的とするもので
あり、摂食嚥下障害はいつてみれば機能
の障害であることから、治療の対象にな
らなかつたのです。

ところが、高齢化とともに生活習慣病、
いかにえれば一命をとりとめても機能に
障害が残る慢性疾患が増えたことから、
医療としてのリハビリテーションの必要
性が増大しました。

リハビリテーションは、機能障害を対
象の一つとして、さまざまな手技・訓練
を駆使して機能改善を目指すものです。

つまり、摂食嚥下障害も高齢社会に
入って増加した機能障害の一つであり、
社会のニーズに押されて歯科領域も徐々
に積極的な関わりをもちはじめたところ
です。

我々千歯会では摂食嚥下障害に対応す
る体制をとっております。安全に安心し
て美味しく楽しく食事ができるサポート
を通じて地域社会に貢献することを目標
にしています。なんでもご相談下さい。

内宮洋一郎



ざっと世間を眺めれば

見直そう

世界に誇れる日本型組織を

衆議院選が与党の圧勝で終わった。景気回復を最優先とし失われた日本を取り戻そうといった、安倍首相の政治運営が再スタートする。外交・福祉・教育など難問を抱え大変なことだろうと思う。だが景気回復に関してはある種の違和感を憶える。

結論から云えば、戦後からの日本経済を支えてきた物は何だったのかといった確認です。

古いことながら、かつて日本が廃墟の中から不死鳥のように世界経済の中に躍り出て周囲を瞠目させた時、特に何事も科学的で合理的なアメリカは、その生産性の向上といった秘密を探ろうとしていち早く視察団を送り込んできました。

当時、『鉄は国家なり』と日本再建の大黒柱を自認して頑張っていた製鉄工場がまず視察されました。――昼夜を分かたず燃えさがる溶鉱炉を中心に、幾組にも別れたグループが職長をトップに思い思いに働く工場は、恰も職長達の支配する職場でした。

続いて視察団は創業者・井深さんの率いる、ソニー工場に向います。当時のソニーは『チーム発想法』という部下の工夫や発想を積極的に取り入れて、新製品を次々と送り出していました。更に創業者の発明と努力を社是(※)とした、松下(現パナソニック)・本田技研を視察しました。

そして視察団は日本企業の逞しさに感嘆して結論つけます。――アメリカの企業はトップダウンで合理的・機械的・契

約的である。それに対して日本の企業は、有機的・細胞的・奉仕的であると。

更によれば日本の場合、徹底的に言われようが民俗の特性でもある愛社精神といったものが陰に陽に企業を支えていたのです。アメリカの場合は能率・貢献度と言ったものが競い合って企業を支えていました。

歴史や文化の相異から見れば、当然のことかも知れません。何しろアメリカはヨーロッパを始めとする世界中から『富』を求めて集まった多民族国家ですから。

それに比べ我が国は、民俗の動乱や一国の独立を侵されたこともなく、時に内乱や悪政こそあれ千五百年以上も連続として恵まれた自然の中で生活を積み重ねてきた国柄です。律令国家(※)として出発した聖徳太子の「和をもって尊し」といった言葉や、いつしか定着した先祖崇拜といった思想を受け継いでいるのです。国民生活や企業組織の中にも、そのような思想が滲みこんでいます。

それにつけて最近気がかりなことは、一身上の都合によるパートは別として「派遣社員」「能力給」といった言葉です。大手企業で働いている六割は派遣社員だとか。生産現場を末永く支える連帯感と愛社精神はどうなってしまうのでしょうか。能力発揮の機会を与えられない人は一体どうなってしまうのでしょうか。

フラストレーション(欲求不満)の実験というものを紹介します。水槽の中央をガラスで仕切り、片方に魚のカマスを入れ、もう片方に餌を入れて食べられない

いようにしておく、やがて中央の仕切りを取り払っても餌を食べず、餌に囲まれて餓死してしまうという実験です。報われない状態が続くことにより『獲得しよう』という意思が駄目になってしまふのです。

「能力給」といいますが、特殊な場合を除いた人間にどれほどの差があるというのでしょうか。何事も一生懸命に長くやってきたことの成果を「能力」と認めてきたのが日本の文化のように思えます。

IT革命社会といわれ、三行も生活も目覚ましく複雑に便利となりましたが、それでも社会を動かしているのは人間です。人間は心で動く生き物です。我が国は、心の文化を長く長く積み重ねてきた国柄です。従って組織の中にも心を大切にす風潮が息づいています。かつての企業や組織で働く人々は、その構成員として目標を共有し、尽くすことが自分のためでもあるといったことを承知して行ってきたのです。

ところが最近心ない経営者や無責任な経営者達が、アメリカ型の経営をたくさん持ち込み、日本型経営が恰も時代遅れでもあるように貶めています。だが現在を冷静に見渡せば、過酷な競争社会の中でお確実に進んでいるのは、殆どが日本型組織企業であることに気がつくはず。そこには連帯や協働による希望や生き甲斐といった喜びがあるので

私達が当然として行ってきたそれこそが、世界に誇れる日本型組織です。

(理事長 父)

※社は 会社の精神的目標

格言 三題

一、禍福はあざなる繩のごとし

人生良いことも悪いこともより合わせた繩のようなもの。良いことばかりに浮かれていますと不幸に突き落とされる時であれば、苦勞を重ねた努力が報われて幸せになることもあります。

(司馬遷 「史記」より)

二、心ここに在らざれば

視えども見えず

感情や欲望にとらわれることで、目に映るものも心に映らず、解っているはずのことも見失ってしまします。

(作者不詳 「大学」より)

三、大事をなすは

必ず人を以て本となす

大切な仕事を成功させたいなら、その思いに共感して協力してくれる人が必要です。そのような人を大切にすることで、目的を果たすことになるでしょう。

(陳寿 「三国志」より)

千歯会便り 167号
2015年1月20日発行



SENSHIKAI

発行元 千歯会
医療法人社団
編集 ウノ